



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月30日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)北川 由香里 TEL 011(851)8188
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,102	—	22	—	14	—	10	—
22年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	0 51	—
22年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成22年3月期第1四半期につきましては、連結損益計算書を作成し、個別損益計算書を作成していないため、平成22年3月期第1四半期の「経営成績(累計)」は記載しておりません。【添付資料】P.9 「5.補足情報」をご参照ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	12,348	2,446	19.8	116 68
22年3月期	12,424	2,449	19.7	116 78

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,446百万円 22年3月期 2,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0 00	0 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	0.8	200	49.9	180	47.4	100	4.9	4 77
通期	17,700	1.1	350	59.1	300	57.6	200	22.0	9 54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	21,039,480株	22年3月期	21,039,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	68,518株	22年3月期	67,480株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	20,970,991株	22年3月期1Q	20,975,163株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
【第1四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) セグメント情報	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(6) 損益計算書に関する注記	P. 7
4. (参考) 四半期財務諸表(連結)	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
(第1四半期連結累計期間)	
5. 補足情報	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、企業業績に改善の兆しが見られる一方、厳しい雇用情勢や所得環境は改善が進まず、個人消費が低迷するなど厳しい状況が続きました。当業界におきましても、前年と比較して主要原材料価格の値下がりはありませんでしたが、消費者の生活防衛意識の広がりに伴う製品の低価格化が一段と進み、企業間競争がさらに激化するという大変厳しい情勢でありました。

このような経営環境のもと当社は、経営理念に掲げる「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざし、「おいしく、北海道らしく。」のキャッチコピーのもと、変化の激しい市場環境への「適合」と、その実現に向けた企業体質の「変革」をキーワードとして製品の品質とサービスの向上に徹底して取り組み、持続的な成長と安定的な収益確保に向けて企業活動を進めてまいりました。

製品施策といたしましては、当社の主力食パンとしてご愛顧をいただいている「絹艶」のリニューアルを実施し、より高品質であることの訴求と拡販に努めました。また、菓子パンではご好評をいただいております、主力製品の「ラブラブサンド」や、「ようかんパン」シリーズの充実と拡販に努めるとともに、「北の国のベーカリー」の基幹製品群について生地改良、ボリュームアップ等の品質改良を進めました。また、食パン「シフォンブレッド(6枚)」やスイーツ系大福「ハスカップ大福」、およびドーナツ類の新製品投入を行い、消費者にとって価値ある製品開発と安定した品質への改善を推し進めてまいりました。

食品安全衛生管理の強化の観点では、従前から引き続きAIBフードセーフティや、ISO 9001の品質マネジメントシステムに基づく、より安全な製品の提供を図るための施策を実施し、ロス管理の向上や、生産工程上のさまざまなロス低減活動の推進、および全社的な業務改善活動を深化させ、「安全・安心」の強化とともに、「効率化」を推進する取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績につきましては、製品の低価格化や、北海道内の6月における例年のない暑さによって販売数量が鈍化するなど、売上面で大変厳しい情勢でありました。その減収に伴う利益の減少から、売上高4,102百万円(前年同四半期比2.8%減)、経常利益14百万円(同76.2%減)、四半期純利益は10百万円(同13.1%減)となりました。

(なお、前年同四半期の連結経営成績との比較を参考事項として記載しております。)

(2) 財政状態に関する定性的情報

四半期貸借対照表の内容について前事業年度末と比較いたしますと、資産の部におきましては、主に季節的要因により売掛金が222百万円減少、商品及び製品が97百万円増加しております。負債の部におきましては、特に重要な差異のあるものはありません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

景気の改善は一部に見られるものの、先行きに対する不透明感が依然として強く、とりわけ個人消費は、その回復力が乏しい状況で推移することが予想され、当業界におきましても根強い低価格志向を背景とした企業間競争がさらに激化し、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われれます。当社といたしましては、山崎製パンとの業務資本提携の目的である、製品の品質および売上高の向上やブランド価値の維持・向上をはじめとするシナジー効果の早期実現に向け取り組むとともに、北海道に根ざした企業として、お客様に支持される安全・安心で価値のある製品とサービスの提供に努め、業績の回復および拡大をめざしてまいります。

平成23年3月期の予想数値につきましては、平成22年5月14日に「平成22年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間から平成20年3月31日公表の「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

従来、法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法については、四半期末時点で加味する加減算項目や税額控除項目、及び一時差異等の発生状況の把握を年度決算と同様の方法で行ってまいりましたが、四半期会計期間の税引前当期純利益に対する税金費用を平準化させること及び四半期決算における迅速性に対応するために、当第1四半期会計期間より、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に、また繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によることと変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、法人税等の算定方法に関する変更の影響額は軽微であり、繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法に関する変更については、当第1四半期会計期間の四半期純利益が12,868千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,522	1,356,048
受取手形及び売掛金	1,761,162	1,983,637
商品及び製品	138,120	40,317
仕掛品	27,811	20,151
原材料及び貯蔵品	143,343	134,191
繰延税金資産	142,494	142,494
その他	80,306	69,845
貸倒引当金	△1,080	△2,240
流動資産合計	3,660,680	3,744,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,510,994	1,466,831
機械及び装置(純額)	1,531,071	1,556,490
土地	4,737,683	4,737,683
その他(純額)	219,140	227,282
有形固定資産合計	7,998,890	7,988,288
無形固定資産		
その他	79,028	80,334
無形固定資産合計	79,028	80,334
投資その他の資産		
投資有価証券	368,081	392,341
投資不動産(純額)	108,967	108,967
繰延税金資産	54,951	46,858
その他	89,638	75,198
貸倒引当金	△11,560	△12,146
投資その他の資産合計	610,079	611,220
固定資産合計	8,687,998	8,679,843
資産合計	12,348,679	12,424,288

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,105,088	2,097,934
短期借入金	1,800,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	738,900	740,950
未払法人税等	8,140	21,907
賞与引当金	82,240	164,152
その他	970,801	905,517
流動負債合計	5,705,170	5,580,461
固定負債		
長期借入金	1,086,550	1,250,900
再評価に係る繰延税金負債	1,609,231	1,609,231
退職給付引当金	1,467,042	1,501,883
役員退職慰労引当金	32,656	31,220
その他	1,145	1,445
固定負債合計	4,196,624	4,394,679
負債合計	9,901,795	9,975,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△971,029	△981,821
自己株式	△7,986	△7,899
株主資本合計	72,958	62,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,108	41,078
土地再評価差額金	2,345,816	2,345,816
評価・換算差額等合計	2,373,924	2,386,894
純資産合計	2,446,883	2,449,147
負債純資産合計	12,348,679	12,424,288

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,102,994
売上原価	3,117,313
売上総利益	985,680
販売費及び一般管理費	
販売費	779,129
一般管理費	183,757
販売費及び一般管理費合計	962,886
営業利益	22,793
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	4,592
その他	3,530
営業外収益合計	8,131
営業外費用	
支払利息	16,172
その他	3
営業外費用合計	16,175
経常利益	14,748
特別利益	
固定資産売却益	203
貸倒引当金戻入額	1,106
特別利益合計	1,310
特別損失	
固定資産除却損	348
投資有価証券売却損	1,273
特別損失合計	1,621
税引前四半期純利益	14,436
法人税、住民税及び事業税	3,644
法人税等調整額	—
法人税等合計	3,644
四半期純利益	10,792

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 損益計算書に関する注記

固定資産除却損には撤去・解体費用が含まれております。

4. (参考) 四半期財務諸表(連結)

「参考資料」

平成22年3月期第1四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため「参考資料」として、四半期連結損益計算書を記載しております。

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,219,227
売上原価	3,215,193
売上総利益	1,004,033
販売費及び一般管理費	
販売費	778,153
一般管理費	165,456
販売費及び一般管理費合計	943,610
営業利益	60,423
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	4,926
受取分配金	9,199
その他	4,610
営業外収益合計	18,751
営業外費用	
支払利息	17,267
その他	4
営業外費用合計	17,271
経常利益	61,903
特別利益	
固定資産売却益	154
特別利益合計	154
特別損失	
固定資産売却損	157
固定資産除却損	21,679
特別損失合計	21,837
税金等調整前四半期純利益	40,220
法人税、住民税及び事業税	3,706
法人税等調整額	24,090
法人税等合計	27,796
四半期純利益	12,424

5. 補足情報

当社は平成22年2月1日付で連結子会社である株式会社ノースデリカを吸収合併いたしました。よって、当社は連結子会社がありませんので、当第1四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、前第1四半期の連結経営成績と当第1四半期の個別経営成績との比較が有用でありますので、以下に記載いたします。

(百万円未満切捨て)

平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期(個別)	4,102	△2.8	22	△62.3	14	△76.2	10	△13.1
22年3月期第1四半期(連結)	4,219	△3.2	60	△49.5	61	△46.3	12	△88.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期(個別)	0	51	—	—
22年3月期第1四半期(連結)	0	59	—	—